

会派みどり
山口 清悦

滝川流雪溝休止について

質問 今般、大雨被害による流雪溝設備故障につき稼働休止の決定が余儀なくされた。この冬の流雪溝設置地区だった国道、市道の除排雪に危惧を抱いている流雪溝管理運営協議会をはじめとする利用者や多くの市民からの声を聞いている。まず、国道だが、札幌開発建設部では、稼働休止における対策を具体的にどのように講じていくのか。予算の増額や除排雪回数などについて話し合いを持ち、答えをもらっているのか伺う。

また、該当する市道についても同様に伺う。

答弁 流雪溝の被災発覚後、直ちに札幌開発建設部に状況報告を行うとともに、冬に向けた除排雪の対応、早期の復旧について協力をお願いしてきました。札幌開発建設部では、降雪や堆雪状況などを勘案しながら、他の幹線道路と同様の除雪・排雪の体制で対応する

との回答を得ていますが、国の予算増額については、情報提供はなされていません。

次に市道については、流雪溝が使用できないことにより、これまで行ってきました除雪に加え排雪での対応となりますが、国道同様に降雪や堆雪状況など勘案しながら対応を考えています。

なお、排雪の回数については、現時点では想定できない状況ですが、その排雪に要する費用については、市道部分の流雪溝設置区間は、鈴蘭通りと材木通りの一部分の約600mであり、1回当たりの排雪費用は150万円程度と想定しています。その予算については今後の降雪状況にもよりますが、当面は現行予算の範囲で対応していきたいと考えています。

また、現在運用している制度である市道排雪事業および市道排雪モデル事業について要望があった場合には、対応できるよう準備しているところです。併せて、流雪溝が使用できないことによる問い合わせなどについても、札幌開発建設部と連携しながら対応していきたいと考えています。

会派みどり
木下八重子

公共施設のアスベスト対策について

質問 アスベスト問題が以前に出たときには、点検を行い、異常がない旨の報告があったと思うが、今回、道内の小中学校においてアスベストがクロロズアップされている。本市においては、現在各施設を調査中とのことだが、調査対象は何か所か。また、異常があれば早急に対策を講じるのか伺う。

答弁 煙突内部に使用される石綿含有断熱材については、これまで本市の学校施設およびその他の公共施設においても、石綿の飛散の恐れはありませんでしたが、今般、道内で学校の煙突用断熱材の落下の発生により、文部科学省から学校施設等における石綿含有保温材等の使用状況再確認の通知を受け、すべての石綿含有断熱材が使用されている煙突を再調査しました。19施設49本の煙突を対象とし、建築士による目視調査に加え、2施

設をサンプルとした大気測定調査を実施した結果、いずれの煙突からも飛散の恐れはなく、大気測定も問題ない結果となりました。

今後も引き続き、点検調査により確認しながら煙突の囲い込みや除去などの対応を進めていきます。

観光行政について

質問 本市最大のイベントである菜の花まつりが毎年開催され、さまざまな菜の花関連事業等を展開しているが、肝心の菜の花がなければイベントが成り立たない。次年度開花予定のナタネの作付面積は、どのくらい予定しているのか。また、今後5年間の作付面積の見通しについて伺う。

答弁 ナタネは、畑作地帯の連作障害を回避するための作物であることから、その年によって作付面積は変動していますが、来年度、開花を予定しているナタネの作付面積は、157ヘクタールと伺っています。

また、ここ数年130ヘクタール程作付けがされており、今後においても同程度の作付けが見込まれると考えています。